



## ▶AMR アライアンス・ジャパン

AMRアライアンス・ジャパンは、国内感染症関連学会、医薬品・医療機器関連企業等が2018年11月に設立した、AMR対策をマルチステークホルダーで議論する独立したプラットフォームです。本アライアンスは1. 患者や医療現場の現状に沿った AMR 対策を実現し、2. 国内外のAMR アジェンダを推進し、3. 我が国のAMR政策を進展すべく、政策提言の策定と情報発信を行っています。

## ▶構成メンバー（五十音順、2023年12月時点）

MSD株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、「子どもと医療」プロジェクト、塩野義製薬株式会社、島津ダイアグノスティクス株式会社、住友ファーマ株式会社、動物用抗菌剤研究会、日本バクテリオン・ディッキンソン株式会社、日本医師会、日本医真菌学会、日本医療薬学会、日本化学療法学会、日本環境感染学会、日本感染症学会、日本小児感染症学会、日本製薬工業協会、日本TDM学会、日本病院薬剤師会、日本薬学会、日本薬剤師会、日本臨床衛生検査技師会、日本臨床微生物学会、ピオメリュー・ジャパン株式会社、姫路市、ファイザー株式会社、Meiji Seika ファルマ株式会社、日本医療政策機構（事務局）



## ▶本アライアンスの提言

2019年7月11日に、国内感染症関連学会等の専門家による議論に基づき、AMRアライアンス・ジャパンは、「AMRアライアンス・ジャパン提言 薬剤耐性（AMR）対策に向け日本政府が果たすべき役割」を発表しました。

本提言書の概要は下記のとおりです。

1. 医療現場の現状を踏まえた抗菌薬の適正使用の推進
2. 国内のAMRに関する危機の管理及びサーベイランス・システムの構築
3. 積極的な耐性菌スクリーニング検査及び迅速診断検査等を実施しやすい体制の整備
4. 国民及び医療従事者へのAMRに関する学修支援
5. 抗菌薬開発を促進するインセンティブ・モデルの策定
6. 抗菌薬の安定供給
7. 国内外の好事例や教訓を共有するための国際連携



## ▶最近の活動

2018年11月8日	AMRアライアンス・ジャパン設立記念 グローバル専門家会合及び記者発表を開催
2019年7月11日	AMRアライアンス・ジャパン提言「薬剤耐性（AMR）対策に向け日本政府が果たすべき役割」を発表
2019年10月3日	政策提言「AMRアライアンス・ジャパン提言 薬剤耐性（AMR）対策に向け日本政府が果たすべき役割」を加藤勝信厚生労働大臣に提出
2020年11月20日	国内外の薬剤耐性（AMR）の現状と対策に関するポリシー・ブリーフを公表
2021年3月24日	日経・FT感染症会議 アジア・アフリカ医療イノベーションコンソーシアム（AMIC）AMR部会 政策提言「抗菌薬市場におけるプル型インセンティブ制度の導入に向けて」を発表
2022年5月30日	骨太方針2022策定に対する提言「薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて」を発表
2022年8月18日	HGPIセミナー特別編「薬剤耐性（AMR）時代におけるユニバーサル・ヘルス・カバレッジ」を開催
2022年11月10日	政策提言「2023年G7広島サミットに対する提言ー プル型インセンティブ導入をはじめとした薬剤耐性（AMR）対策の推進に向けて」を加藤勝信厚生労働大臣、林芳正外務大臣に提出
2022年12月19日	2023年G7広島サミットに向けた提言「薬剤耐性（AMR）対策の促進に向けて 求められる政治的リーダーシップと国際連携」を発表
2023年2月28日	AMR特別シンポジウム「薬剤耐性推進に求められる次の打ち手 G7、国連総会ハイレベル会合を見据えたマルチステークホルダー連携」を開催
2023年4月28日	G7広島サミットの首脳宣言における薬剤耐性（AMR）問題について岸田文雄総理に提言



AMRアライアンス・ジャパン  
ウェブサイト



Health and Global  
Policy Institute



特定非営利活動法人 日本医療政策機構  
〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-2  
大手町フィナンシャルシティ グランキューブ3階  
グローバルビジネスハブ東京

TEL: 03-4243-7156 FAX: 03-4243-7378

Mail: info@hgpi.org

Website: <https://www.hgpi.org/>